

# 訪問リハビリ通信

第2号

～Rehastagram～

いつもお世話になっております。小野病院訪問リハビリテーション言語聴覚士の澤田です。最近では雨も多く、気温や湿度も高い状態が続いています。新型コロナだけでなく、熱中症にも注意が必要でこまめに水分摂取し気を付けていただければと思います。



さて第2号は私から、初めて言語療法(ST)を受けられた利用者様を通して「ST介入までの経緯や流れ」をご紹介します！

## 言語聴覚士(ST)追加介入までの流れ



利用者様

声が小さくて、隣の部屋まで声が届かない  
最近食べ物のがどに引っかかる  
時々味噌汁でムせる  
STってどんなことするの？

70歳代 女性 (要介護2)  
脳出血(発症14年経過)  
理学療法(PT)の  
訪問リハビリを利用(週1回)

- ①担当PTよりCMへ相談
- ②お試しST評価提案
- ③日程の調整



### ④お試しST評価実施(※指示書要相談)

- ・嚥下機能評価(飲食・飲水)
- ・発声発語機能評価
- ・STの内容説明

結果や予後を説明し  
週1回介入となる



### 言語聴覚士より

今回、「STってどんなことするの？」との声を頂き、一度**お試しST評価**をご提案しました。評価の結果、本人様が希望され介入の運びとなりました。他にも、短期間の介入や月1回、隔週の利用など様々な介入方法も提案しております。まずはお気軽にお試し評価だけでも、ご相談ください。

### ご利用者様より

以前よりも声が出るようになりました。簡単な腹筋や呼吸の自主練習も教えてもらい、毎日できるようになりました。

